

146 カワガラス

(スズメ目)

Cinclus pallasii

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:C 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

中央アジア東部からヒマラヤ、インドシナ半島北部、中国、シベリア東部、サハリン、千島列島、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。渓流に生息し、岩の隙間や滝の裏、砂防ダムの水抜き穴などにコケなどを利用して巣を造る。カワゲラやカゲロウなどの水生昆虫類を食べる。冬には、河川中流のやや開けたところにも姿を現す。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、本州、佐渡、四国、九州、屋久島、トカラ列島



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★西宮市、洲本市、芦屋市、★豊岡市、西脇市、宝塚市、★川西市、三田市、★丹波篠山市、養父市、丹波市、★朝来市、★宍粟市、猪名川町、多可町、★神河町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○



写真提供：梅津節雄

(性別：不明)

※採餌風景

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖する。かつては各地の渓流で繁殖していたが、近年の渓流の環境改変により多くの生息地が失われた。最近には人による攪乱によって、さらに減少傾向が続いている。

保護上の留意点

渓流の環境が大きく変わったことや渓流への人の入り込みが減少要因であることから、渓流の改修にあたっては、本種が営巣できる環境の確保または創出、および水量の確保と水生昆虫類が生息できる水辺環境の再生が重要。また、本種が生息する渓流では、繁殖期における立ち入り制限が必要。